

法学部

入学から現在までの意識・行動に関して、法学部では明治政府の初代司法大臣である「学祖名（山田顕義先生）を知っている」が88.9%で1位、「今の学部に入って良かった」が86.1%で2位、「できるだけ多くの授業に出て良い成績をとろうと思った」が73.8%で3位となっています。他学部と比較すると「学祖名を知っている」は14学部中最高、「学部のホームページをよく見ている」（65.9%）、「自分の学部に誇りをもっている」（60.7%；但し平成9年度比では-1.7ポイント）、「今、はっきりとした目標をもって勉学している」（56.0%）が相対的に高くなっています。総合して見ると、勉学意識や大学・学部への帰属意識の強い学生が多いことが分かります。

平成9年度から15年間の変化を見ると、「入学後、勉学意欲がもてるようになった」は23.9ポイント増と勉学意欲の高まりが顕著に見られます。「学祖名」の認知率が19.9ポイント増と目立ち、また、「ボランティア活動を今後してみたい」が18.5ポイント増と目立っています。

入学から現在までの意識・行動(上位20位)

平成9年度
からの増減
(ポイント)

| 順位 | 意識・行動 | 割合 | 平成9年度からの増減(ポイント) |
|----|-------------------------------|-------|------------------|
| 1 | 学祖名(山田顕義先生)を知っている | 88.9% | 19.9 |
| 2 | 今の学部に入って良かった | 86.1% | 10.5 |
| 3 | できるだけ多くの授業に出て 良い成績をとろうと思った | 73.8% | 8.3 |
| 4 | 日大に入って良かった | 73.0% | 5.4 |
| 5 | ボランティア活動を今後してみたい | 71.8% | 18.5 |
| 6 | 基礎学力の不足を痛感する | 70.6% | * |
| 6 | 校舎内で火災・地震等発生時の 安全性に不安を感じる | 70.6% | * |
| 8 | 大学は学生の個人情報に 細心の注意を払っている | 69.4% | * |
| 9 | 入学直後に比べると 日大の良さを認めるようになった | 67.1% | 15.9 |
| 10 | 自分の学部の ホームページをよく見ている | 65.9% | * |
| 11 | 入学後、勉学意欲がもてるようになった | 61.9% | 23.9 |
| 12 | 入学後、人間性が豊かになった | 61.5% | 13.4 |
| 13 | 自分の学部に誇りをもっている | 60.7% | -1.7 |
| 14 | ぼんやりと過ごす時間が多い | 59.1% | 0.6 |
| 15 | 日大のスポーツの活躍は誇りになる | 57.1% | 8.3 |
| 16 | 今、はっきりとした 目標をもって勉学している | 56.0% | 10.4 |
| 17 | 入学時に卒業後の進路・就職を 意識していた | 55.2% | 2.2 |
| 17 | 栄養のバランスに気がつかっている | 55.2% | 6.8 |
| 19 | 自分の学部出身者は社会に有利 | 53.2% | 0.9 |
| 20 | どうしても東京の大学に入学したかった | 51.2% | 6.6 |

文理学部

入学から現在までの意識・行動に関して、文理学部では「今の学部に入って良かった」が85.7%で1位、次に「日大に入って良かった」が80.7%（14学部中トップ）と高くなっており、大学や学部の選択に関しての満足度が高いことが分かります。一方で、「自分の学部の出身者は社会に出てから有利だと思う」（37.0%；14学部中最下位）や「自分の学部は今後益々世間で評価されると思う」（35.3%；同12位）は低く、学部に対する社会の評価には自信を持っていない学生も少なくないようです（3年前と同傾向）。さらに他学部と比較すると、「日大のスポーツの活躍は誇りになる」は60.5%で14学部中2位、「日本大学が出るスポーツを見に行ってみたい」「日本大学が出るスポーツの日程、場所などの情報提供をして欲しい」が14学部中トップであり、スポーツへの関心が目立ちます。本学部の在学生・卒業生が2012年ロンドン五輪に選手や監督として参加しており、関心の高さが理解できそうです。

平成9年度と比較すると、「学祖名を知っている」が26.3ポイント増、「入学後、勉学意欲がもてるようになった」が17.1ポイント増と増加幅が大きく、本学創設の歴史に対する認識と勉学意欲が高まっています。

入学から現在までの意識・行動(上位20位)

平成9年度
からの増減
(ポイント)

| 順位 | 意識・行動 | 割合 | 増減(ポイント) |
|----|-------------------------------|-------|----------|
| 1 | 今の学部に入って良かった | 85.7% | 7.0 |
| 2 | 日大に入って良かった | 80.7% | 2.5 |
| 3 | 基礎学力の不足を痛感する | 76.0% | * |
| 4 | ボランティア活動を今後してみたい | 71.8% | 16.8 |
| 5 | 入学直後に比べると 日大の良さを認めるようになった | 70.0% | 10.1 |
| 6 | 入学後、人間性が豊かになった | 64.3% | 3.0 |
| 7 | できるだけ多くの授業に出て 良い成績をとろうと思った | 64.0% | 2.7 |
| 8 | 日大のスポーツの活躍は誇りになる | 60.5% | 1.9 |
| 9 | ぼんやりと過ごす時間が多い | 59.7% | 1.9 |
| 10 | 学祖名(山田顕義先生)を知っている | 59.0% | 26.3 |
| 11 | 大学は学生の個人情報に 細心の注意を払っている | 57.7% | * |
| 12 | 入学後、勉学意欲がもてるようになった | 55.8% | 17.1 |
| 13 | 栄養のバランスに気がつかっている | 53.0% | -2.9 |
| 14 | 勉学のためにゆとりの時間がもてない | 52.0% | 7.0 |
| 15 | 自分の学部に誇りをもっている | 51.7% | 5.1 |
| 16 | 入学時に卒業後の進路・就職を 意識していた | 50.8% | 10.2 |
| 16 | 学内での盗難や 器物破損の危険性を感ずる | 50.8% | * |
| 18 | 良い影響を受ける教職員に出会えた | 50.2% | 5.8 |
| 19 | 必要な基礎学力の 補習を実施して欲しい | 49.8% | * |
| 20 | 今、将来の職業をどうしたいかが はっきりしている | 49.7% | 4.5 |

*は平成9年度に無かった項目

経済学部

入学から現在までの意識・行動に関して、経済学部では「今の学部に入って良かった」（71.9%）、「基礎学力の不足を痛感する」（69.3%）、「できるだけ多くの授業に出て良い成績をとろうと思った」（65.1%）の順で高くなっています。他の学部と比較すると、「どうしても東京の大学に入学したかった」が57.5%で14学部中最も高く、経済の中心地で学びたいと思った学生が多いようです。しかしながら、「入学時に卒業後の進路・就職をすでに意識していた」「入学後、将来について希望がもてるようになった」「今、将来の職業をどうしたいかがはっきりしている」学生の比率は14学部中ほぼ最低レベルとなっており、はっきりとした将来のビジョンを描けない学生が比較的多いと言えます。

平成9年度と比較すると、「入学後、勉学意欲がもてるようになった」が23.8ポイント増、「今の学部に入って良かった」も18.8ポイント増、「入学直後に比べると日大の良さを認めるようになった」が17.4ポイント増となっており、平成17年度のカリキュラム改訂とGPA制度（学生の成績評価方式）導入の効果や経済状況の悪化に伴って、学生の勉学への意識や取り組みが変化しているものと考えられます。

入学から現在までの意識・行動(上位20位)

平成9年度
からの増減
(ポイント)

| 順位 | 意識・行動 | 割合 | 平成9年度からの増減(ポイント) |
|----|---------------------------|-------|------------------|
| 1 | 今の学部に入って良かった | 71.9% | 18.8 |
| 2 | 基礎学力の不足を痛感する | 69.3% | * |
| 3 | できるだけ多くの授業に出て良い成績をとろうと思った | 65.1% | 5.4 |
| 4 | 日大に入って良かった | 64.6% | -4.3 |
| 5 | 校舎内で火災・地震等発生時の安全性に不安を感じず | 62.5% | * |
| 6 | ぼんやりと過ごす時間が多い | 60.1% | -1.1 |
| 7 | 入学後、人間性が豊かになった | 58.8% | 5.7 |
| 8 | ボランティア活動を今後してみたい | 57.7% | 5.7 |
| 9 | どうしても東京の大学に入学したかった | 57.5% | 6.5 |
| 10 | 学祖名(山田顕義先生)を知っている | 57.0% | 21.3 |
| 11 | 入学直後に比べると日大の良さを認めるようになった | 56.7% | 17.4 |
| 12 | どうしても日大より高い水準の大学へ入学したかった | 55.9% | 10.5 |
| 13 | 必要な基礎学力の補習を実施して欲しい | 55.6% | * |
| 14 | 学内での盗難や器物破損の危険性を感じず | 55.1% | * |
| 15 | 良い影響を受ける教職員に出会えた | 50.1% | 16.9 |
| 15 | 日大のスポーツの活躍は誇りになる | 50.1% | -3.5 |
| 17 | 栄養のバランスに気がつかっている | 49.3% | 1.3 |
| 18 | 勉学のためにゆとりの時間がもてない | 47.5% | 8.7 |
| 19 | 入学後、勉学意欲がもてるようになった | 45.7% | 23.8 |
| 20 | 自分の学部出身者は社会に有利 | 44.9% | 6.6 |

商学部

入学から現在までの意識や行動について、商学部では入学直後に「今の学部に入って良かった」（75.3%）、「できるだけ多くの授業に出て良い成績をとろうと思った」（62.4%）ものの授業を受けていて「基礎学力の不足を痛感する」（70.2%）といった学生が多くなっています。他学部と比較すると、「どうしても日大より高い水準の大学へ入学したかった」は56.5%で14学部中最高、「日本大学に入って良かった」は61.3%で最低、さらに入学後の意識として「勉強意欲がもてる」「着々と勉強の成果をあげている」「将来の職業をどうしたいかがはっきりしている」などの項目も最低となっています。

経年比較では、平成18年度に「校舎内で火災・地震等発生時の安全性に不安を感じる」が72.9%で1位でしたが、新校舎が次々と竣工した結果、平成24年度は38.2%と大幅に減少しています。平成9年度との比較では、「学祖名を知っている」が70.7%で32.4ポイント増、「ボランティア活動の経験がある」が43.5%で19.8ポイント増が目立っています。

入学から現在までの意識・行動(上位20位)

平成9年度
からの増減
(ポイント)

| 順位 | 意識・行動 | 割合 | 増減(ポイント) |
|----|-------------------------------|-------|----------|
| 1 | 今の学部に入って良かった | 75.3% | 2.7 |
| 2 | 学祖名(山田顕義先生)を知っている | 70.7% | 32.4 |
| 3 | 基礎学力の不足を痛感する | 70.2% | * |
| 4 | できるだけ多くの授業に出て 良い成績をとろうと思った | 62.4% | 4.2 |
| 4 | ボランティア活動を今後してみたい | 62.4% | 10.2 |
| 6 | ぼんやりと過ごす時間が多い | 62.1% | 6.6 |
| 7 | 日大に入って良かった | 61.3% | -11.9 |
| 7 | 入学後、人間性が豊かになった | 61.3% | -0.4 |
| 9 | どうしても日大より高い 水準の大学へ入学したかった | 56.5% | 11.4 |
| 10 | どうしても東京の大学に入学したかった | 53.2% | 2.7 |
| 11 | 入学直後に比べると 日大の良さを認めるようになった | 53.0% | -4.6 |
| 12 | 栄養のバランスに気がつかっている | 50.3% | 4.1 |
| 13 | 入学して「さあ遊べる」と思った | 49.7% | -5.8 |
| 14 | 校内での盗難や 器物破損の危険性を感じる | 48.4% | * |
| 15 | 勉強のためにゆとりの時間がもてない | 47.6% | 7.1 |
| 16 | 日大のスポーツの活躍は誇りになる | 47.3% | -10.5 |
| 17 | 必要な基礎学力の 補習を実施して欲しい | 47.0% | * |
| 18 | 自分の学部の ホームページをよく見ている | 46.2% | * |
| 19 | 入学時に卒業後の進路・就職を 意識していた | 44.9% | 2.9 |
| 20 | ボランティア活動の経験がある | 43.5% | 19.8 |

芸術学部

入学から現在までの意識や行動について、芸術学部では「今の学部に入って良かった」が93.1%で14学部中唯一90%を超えています。次いで「日大に入って良かった」が79.7%、「自分の学部に誇りをもっている」が77.2%となっており、入学時の学部や大学に対する帰属意識が非常に高いことが分かります。他の学部と比較すると、「入学後、創造性が養われた」や「良い影響を受ける教職員に出会えた」などの項目は前回調査と同じく全学部中最高、「入学後、勉学意欲がもてるようになった」も今回最高であり、入学後の自分自身や教職員に対する満足度が高いといった特徴が見られます。

平成9年度と比較すると、「入学直後に比べると日大の良さを認めるようになった」が21.3ポイント増、「入学後、勉学意欲がもてるようになった」が18.6%増、「日大は自分の才能を伸ばしてくれると思う」が16.5ポイント増となっており、本学に対する評価や勉学意欲が高まっていることがうかがえます。2か所のキャンパスのうち、江古田校舎が平成22年度にすべてリニューアル・芸術総合講座の開講・GPA制度（学生の成績評価方式）導入など、学生が才能を十分に発揮できる環境を整えている成果が表れています。

入学から現在までの意識・行動(上位20位)

平成9年度
からの増減
(ポイント)

| 順位 | 意識・行動 | 割合 | 増減(ポイント) |
|----|---------------------------|-------|----------|
| 1 | 今の学部に入って良かった | 93.1% | 6.9 |
| 2 | 日大に入って良かった | 79.7% | 11.6 |
| 3 | 自分の学部に誇りをもっている | 77.2% | 12.3 |
| 4 | 入学後、創造性が養われた | 74.7% | 13.0 |
| 5 | 良い影響を受ける教職員に出会えた | 72.2% | 9.4 |
| 6 | 基礎学力の不足を痛感する | 70.0% | * |
| 7 | 入学後、勉学意欲がもてるようになった | 69.1% | 18.6 |
| 7 | 入学後、人間性が豊かになった | 69.1% | 5.8 |
| 9 | 入学直後に比べると日大の良さを認めるようになった | 62.8% | 21.3 |
| 10 | できるだけ多くの授業に出て良い成績をとろうと思った | 62.5% | 5.6 |
| 11 | ボランティア活動を今後してみたい | 60.3% | 11.4 |
| 12 | 入学時に卒業後の進路・就職を意識していた | 58.4% | -3.3 |
| 13 | 今、はっきりとした目標をもって勉学している | 57.5% | 4.8 |
| 13 | 大学は学生の個人情報に細心の注意を払っている | 57.2% | * |
| 15 | 栄養のバランスに気がつかっている | 54.4% | 4.9 |
| 16 | 学祖名(山田顕義先生)を知っている | 54.1% | 31.2 |
| 17 | 今、将来の職業をどうしたいかがはっきりしている | 51.9% | 3.0 |
| 18 | ぼんやりと過ごす時間が多い | 51.6% | 6.9 |
| 18 | 日大は自分の才能伸ばしてくれると思う | 51.6% | 16.5 |
| 20 | 自分の学部は今後益々世間で評価される | 50.0% | 6.9 |

国際関係学部

入学から現在までの意識や行動について、国際関係学部では「今の学部に入って良かった」（73.9%）、「日大に入って良かった」（73.5%）、「基礎学力の不足を痛感する」（72.7%）がベスト3であり、3年前の調査と同様の結果になっています。他の学部と比較すると、4位の「ボランティア活動を今後してみたい」（72.3%）と7位の「入学後、人間性が豊かになった」（69.7%）は14学部中最高で、東日本大震災の影響や、異文化について学んで得られた知識や経験などが生かされていることが考えられます。また、「ぼんやりと過ごす時間が多い」（65.5%）も前回調査と同様14学部中最高となっていますが、静岡県三島市といった自然環境に恵まれたキャンパスでゆとりをもって生活している学生が多いのかもしれない。

平成9年度と比較すると「学祖名（山田顕義先生）を知っている」が48.1ポイント増と14学部中最大の増加となっています。また、「入学後、勉強意欲がもてるようになった」が23.3ポイント増、「日大出身者は社会に出てから有利だと思う」が18.7ポイント増と目立っており、平成21年度に創設30周年を迎え、学部としての教育方針の一定の成果が得られてきていること、また、卒業生の中で活躍する者も現れてきており、在学生に刺激となっているのかもしれない。

平成9年度
からの増減
(ポイント)

入学から現在までの意識・行動(上位20位)

| 順位 | 意識・行動 | 割合 | 増減(ポイント) |
|----|-------------------------------|-------|----------|
| 1 | 今の学部に入って良かった | 73.9% | 4.5 |
| 2 | 日大に入って良かった | 73.5% | 4.5 |
| 3 | 基礎学力の不足を痛感する | 72.7% | * |
| 4 | ボランティア活動を今後してみたい | 72.3% | 10.4 |
| 5 | 学祖名(山田顕義先生)を知っている | 71.2% | 48.1 |
| 6 | できるだけ多くの授業に出て 良い成績をとろうと思った | 70.8% | 2.5 |
| 7 | 入学後、人間性が豊かになった | 69.7% | 10.4 |
| 8 | ぼんやりと過ごす時間が多い | 65.5% | 9.5 |
| 9 | 入学直後に比べると 日大の良さを認めるようになった | 63.3% | 11.8 |
| 10 | 日大のスポーツの活躍は誇りになる | 62.9% | 15.5 |
| 11 | 入学後、勉強意欲がもてるようになった | 61.4% | 23.3 |
| 12 | 必要な基礎学力の 補習を実施して欲しい | 57.2% | * |
| 13 | 大学は学生の個人情報に 細心の注意を払っている | 56.4% | * |
| 14 | 良い影響を受ける教職員に出会えた | 56.1% | 7.6 |
| 15 | 「日大生」であることを誇りに思っている | 54.9% | 13.9 |
| 16 | 日大出身者は 社会に出てから有利だと思う | 54.5% | 18.7 |
| 17 | 校舎内で火災・地震等発生時の 安全性に不安を感じず | 53.4% | * |
| 18 | 自分の学部の ホームページをよく見ている | 52.3% | * |
| 19 | 栄養のバランスに気がつかっている | 51.9% | -4.8 |
| 20 | 夕食は普段は一人で食べている | 50.0% | 4.1 |

理工学部

入学から現在までの意識や行動について、理工学部では入学直後は「今の学部に入って良かった」（81.1%で1位）、「日大に入って良かった」（78.6%で2位）と満足度が高いものの、授業を受けていて「基礎学力の不足を痛感する」学生が多くいます（75.7%で3位）。他の理工系学部と比較すると、「自分の学部出身者は社会に出てから有利」（66.0%で5位）、「自分の学部は今後益々世間で評価される」（57.5%で10位）、「自分の学部に誇りをもっている」（54.1%で14位）といった項目が相対的に高くなっており、学部帰属意識が高いことがうかがえます。

平成9年度と比較すると、「入学後、勉学意欲がもてるようになった」が25.4ポイント増、「できるだけ多くの授業に出て良い成績をとろうと思った」が10.1ポイント増となっており、勉学に意欲的に取り組む学生が大幅に増加しています。教員1人あたり学部生約10人というきめ細かい教育や、平成20年度からの新しいカリキュラムの実施など、学部の教育環境が改善された成果が表れていると考えられます。

入学から現在までの意識・行動(上位20位)

平成9年度
からの増減
(ポイント)

| 順位 | 意識・行動 | 割合 | 平成9年度からの増減(ポイント) |
|----|---------------------------|-------|------------------|
| 1 | 今の学部に入って良かった | 81.1% | 7.4 |
| 2 | 日大に入って良かった | 78.6% | 7.8 |
| 3 | 基礎学力の不足を痛感する | 75.7% | * |
| 4 | できるだけ多くの授業に出て良い成績をとろうと思った | 73.3% | 10.1 |
| 5 | 自分の学部出身者は社会に有利 | 66.0% | 10.7 |
| 6 | 入学直後に比べると日大の良さを認めるようになった | 64.9% | 15.7 |
| 7 | 入学後、人間性が豊かになった | 61.1% | 4.6 |
| 8 | ぼんやりと過ごす時間が多い | 60.2% | 0.1 |
| 9 | 入学後、勉学意欲がもてるようになった | 58.0% | 25.4 |
| 10 | 自分の学部は今後益々世間で評価される | 57.5% | 10.7 |
| 11 | 勉学のためにゆとりの時間がもてない | 56.8% | -2.5 |
| 12 | ボランティア活動を今後してみたい | 55.8% | 7.5 |
| 13 | 必要な基礎学力の補習を実施して欲しい | 55.1% | * |
| 14 | 自分の学部に誇りをもっている | 54.1% | -0.7 |
| 15 | 日大出身者は社会に出てから有利だと思う | 53.7% | 10.0 |
| 15 | 学祖名(山田顕義先生)を知っている | 53.7% | 31.9 |
| 17 | 学内での盗難や器物破損の危険性を感じず | 51.9% | * |
| 18 | 大学は学生の個人情報に細心の注意を払っている | 51.7% | * |
| 19 | 良い影響を受ける教職員に出会えた | 50.5% | 8.1 |
| 20 | 校舎内で火災・地震等発生時の安全性に不安を感じず | 50.3% | * |

生産工学部

入学から現在までの意識や行動について、生産工学部では「日大に入って良かった」が75.0%で1位となっています。「今の学部に入って良かった」は68.0%で4位ですが、他の学部と比較すると14学部中最低となっており、学部帰属意識は相対的に高くないようです。一方、「日大出身者は社会に出てから有利だと思う」(62.9%)、「日大は今後益々世間で評価される」(49.5%)は14学部中最高であり、大学帰属意識は高くなっています。

平成9年度と比較すると、「入学後、勉学意欲がもてるようになった」は28.3ポイントと大幅な増、「入学直後に比べると日大の良さを認めるようになった」「良い影響を受ける教職員に会えた」「自分の学部出身者は社会に有利」も15ポイント以上増加しており、勉学意欲や本学と学部に対する評価が高まる傾向が見られます。平成20年度からの学科増設、学部開設時からのインターンシップ制度の実施やFDへの取り組みの成果が表れていると考えられます。

入学から現在までの意識・行動(上位20位)

平成9年度
からの増減
(ポイント)

| 順位 | 意識・行動 | 割合 | 増減(ポイント) |
|----|-------------------------------|-------|----------|
| 1 | 日大に入って良かった | 75.0% | 5.6 |
| 2 | 基礎学力の不足を痛感する | 72.7% | * |
| 3 | できるだけ多くの授業に出て 良い成績をとろうと思った | 69.6% | 14.9 |
| 4 | 今の学部に入って良かった | 68.0% | 8.7 |
| 5 | 入学直後に比べると 日大の良さを認めるようになった | 64.3% | 16.7 |
| 6 | 日大出身者は 社会に出てから有利だと思う | 62.9% | 12.4 |
| 7 | 入学後、勉学意欲がもてるようになった | 57.9% | 28.3 |
| 8 | ぼんやりと過ごす時間が多い | 57.6% | -1.1 |
| 9 | 必要な基礎学力の 補習を実施して欲しい | 55.7% | * |
| 10 | 入学後、人間性が豊かになった | 55.2% | -3.9 |
| 10 | 勉学のためにゆとりの時間がもてない | 55.2% | -3.3 |
| 12 | ボランティア活動を今後してみたい | 54.9% | 11.5 |
| 13 | 学内での盗難や 器物破損の危険性を感じず | 50.8% | * |
| 14 | 大学は学生の個人情報に 細心の注意を払っている | 50.5% | * |
| 15 | 日大は今後益々世間で評価される | 49.5% | 9.5 |
| 16 | 自分の学部出身者は社会に有利 | 49.3% | 15.3 |
| 17 | 自分の学部の ホームページをよく見ている | 49.2% | * |
| 18 | 良い影響を受ける教職員に会えた | 49.0% | 16.3 |
| 19 | 日大のスポーツの活躍は誇りになる | 48.7% | 0.9 |
| 20 | 今、はっきりとした 目標をもって勉学している | 48.0% | 11.7 |

工学部

入学から現在の意識や行動について、工学部では「基礎学力の不足を痛感する」が81.4%と断トツになっている点が目立っています。しかしながら、「日大に入って良かった」（73.2%）、「今の学部に入って良かった」「（入学直後）できるだけ多くの授業に出て良い成績をとろうと思った」（各72.2%）が上位にランクされている点については、推薦入試又はAO入試での入学者が3分の2近くを占めていることが影響しているのかもしれませんが、同じ点が関係していると考えられます。他の学部と比較すると、9位の「必要な基礎学力の補習を実施してもらいたい」（59.8%）が14学部中最高となっています。また、「今、はっきりとした目標をもって勉学している」（39.5%）、「入学後、自分に自信がもてるようになった」（33.7%）は14学部中最下位であり、勉学の目標や自信がもてない学生が少なくないようです。

平成9年度と比較すると、「学祖名（山田顕義先生）を知っている」が26.8ポイント増、「ボランティア活動を今後してみたい」が19.4ポイント増となっている他、「入学後、勉学意欲がもてるようになった」も17.0ポイント増加しており、4年に一度のカリキュラムの見直しなど教育面での改善が学生の勉学意欲の向上に寄与しているものと考えられます。また、「朝食を食べないことが多い」学生が16.2ポイント減と生活面での改善も見られます。

入学から現在までの意識・行動(上位20位)

平成9年度
からの増減
(ポイント)

| 順位 | 意識・行動 | 割合 | 平成9年度からの増減(ポイント) |
|----|-------------------------------|-------|------------------|
| 1 | 基礎学力の不足を痛感する | 81.4% | * |
| 2 | 日大に入って良かった | 73.2% | 5.1 |
| 3 | 今の学部に入って良かった | 72.2% | 13.8 |
| 3 | できるだけ多くの授業に出て 良い成績をとろうと思った | 72.2% | 1.6 |
| 5 | 入学直後に比べると 日大の良さを認めるようになった | 65.6% | 11.8 |
| 6 | ぼんやりと過ごす時間が多い | 63.2% | 1.6 |
| 6 | ボランティア活動を今後してみたい | 63.2% | 19.4 |
| 8 | 大学は学生の個人情報に 細心の注意を払っている | 61.9% | * |
| 9 | 必要な基礎学力の 補習を実施して欲しい | 59.8% | * |
| 10 | 入学後、人間性が豊かになった | 58.8% | 1.6 |
| 11 | 夕食は普段は一人で食べている | 58.1% | 4.7 |
| 12 | 自分の学部の ホームページをよく見ている | 57.0% | * |
| 13 | 学内での盗難や 器物破損の危険性を感じず | 54.0% | * |
| 14 | 日大出身者は 社会に出てから有利だと思う | 53.3% | 1.1 |
| 15 | 入学後、勉学意欲がもてるようになった | 52.6% | 17.0 |
| 16 | 自分の学部出身者は社会に有利 | 50.5% | 8.9 |
| 16 | 日大のスポーツの活躍は誇りになる | 50.5% | 1.4 |
| 18 | 勉学のためにゆとりの時間がもてない | 49.5% | -8.3 |
| 19 | 学祖名（山田顕義先生）を知っている | 48.1% | 26.8 |
| 20 | 朝食を食べないことが多い | 45.7% | -16.2 |

医学部

入学から現在までの意識や行動について、医学部では「今の学部に入って良かった」が92.6%で断トツとなっています。さらに、「自分の学部に誇りをもっている」（80.6%）, 「自分の学部出身者は社会に出てから有利」（78.2%）, 「自分の学部は今後益々世間で評価される」（69.4%）が上位にランクされており、学部帰属意識が非常に高い点が特徴です。また、「自分の学部の学部長名を知っている」が83.8%で2位, 「学祖名（山田顕義先生）を知っている」が83.3%で3位と高い点も特徴的です。他の学部と比較すると、「今、将来の職業をどうしたいかがはっきりしている」（80.6%）と「入学後、将来について希望がもてるようになった」（71.3%）が14学部中トップ。「今、はっきりとした目標をもって勉学している」（75.5%）も14学部中2位であり、将来を前向きにとらえ目標をもって勉学に励んでいる様子が浮き彫りになっています。

平成9年度と比較すると、「入学後、勉学意欲がもてるようになった」が24.5ポイントと大幅に増加しており、学習・生活面でのモチベーションを高める教育の成果が表れているようです。

入学から現在までの意識・行動(上位20位)

平成9年度
からの増減
(ポイント)

| 順位 | 意識・行動 | 割合 | 増減(ポイント) |
|----|--------------------------|-------|----------|
| 1 | 今の学部に入って良かった | 92.6% | 5.4 |
| 2 | 自分の学部の学部長名を知っている | 83.8% | -13.8 |
| 3 | 学祖名(山田顕義先生)を知っている | 83.3% | 47.3 |
| 4 | 今、将来の職業をどうしたいかがはっきりしている | 80.6% | 3.8 |
| 4 | 自分の学部に誇りをもっている | 80.6% | -3.4 |
| 6 | 自分の学部出身者は社会に有利 | 78.2% | 8.6 |
| 7 | 校舎内で火災・地震等発生時の安全性に不安を感じず | 77.8% | * |
| 8 | 入学時に卒業後の進路・就職を意識していた | 76.9% | -1.5 |
| 9 | 今、はっきりとした目標をもって勉学している | 75.5% | 12.3 |
| 10 | 日大に入って良かった | 73.1% | -0.5 |
| 11 | 入学後、将来について希望がもてるようになった | 71.3% | 15.3 |
| 12 | 自分の学部は今後益々世間で評価される | 69.4% | 2.2 |
| 13 | 入学後、勉学意欲がもてるようになった | 68.5% | 24.5 |
| 14 | 基礎学力の不足を痛感する | 68.1% | * |
| 15 | 入学後、人間性が豊かになった | 65.7% | 3.3 |
| 16 | 学内での盗難や器物破損の危険性を感じず | 62.0% | * |
| 17 | 入学直後に比べると日大の良さを認めるようになった | 61.1% | 4.3 |
| 18 | 栄養のバランスに気がつかっている | 60.6% | 7.8 |
| 19 | 入学後、着々と勉学の成果をあげていると思う | 60.2% | * |
| 20 | 健康のために定期的な運動をしている | 59.3% | 1.7 |

歯学部

入学から現在までの意識や行動について、歯学部では、歯学博士で元歯学部長である「総長名（大塚吉兵衛先生）を知っている」が82.4%で1位となっています。「入学時に卒業後の進路・就職を意識していた」が78.9%で2位、「今、将来の職業をどうしたいかがはっきりしている」と「今、はっきりとした目標をもって勉強している」が70%強で上位にランクされており、しっかりと将来を見据えて勉強に励む学生が多い点が浮き彫りになっています。施設の安全面に関して、「校舎内で火災・地震発生時の安全性に不安を感じる」が77.5%で3位（3年前から7.6ポイント増）と、校舎に対する不安の声が強く挙がっています。他学部と比較すると、「他学部、他学科に入りたかった」（54.4%）と「日大か浪人かで悩んだ」（38.2%）が14学部中トップであり、入学当初は不本意入学意識が強かった学生が多いようです。

平成9年度と比較すると、「できるだけ多くの授業に出て良い成績をとろうと思った」「入学後、勉強意欲がもてるようになった」などが20ポイント以上の大幅増となっています。本学部は私立大学では国家試験合格率がトップレベルであり、チュートリアル教育など6年間一貫教育の成果が表れていると言えそうです。

入学から現在までの意識・行動(上位20位)

平成9年度
からの増減
(ポイント)

| 順位 | 意識・行動 | 割合 | 増減(ポイント) |
|----|---------------------------|-------|----------|
| 1 | 総長名(大塚吉兵衛先生)を知っている | 82.4% | 53.3 |
| 2 | 入学時に卒業後の進路・就職を意識していた | 78.9% | -2.3 |
| 3 | 校舎内で火災・地震等発生時の安全性に不安を感じる | 77.5% | * |
| 4 | 自分の学部の学部長名を知っている | 74.0% | -1.6 |
| 5 | 今、将来の職業をどうしたいかがはっきりしている | 73.0% | -1.6 |
| 6 | 今、はっきりとした目標をもって勉強している | 72.1% | 14.4 |
| 7 | 学内での盗難や器物破損の危険性を感じる | 71.1% | * |
| 8 | 今の学部に入って良かった | 70.1% | 7.2 |
| 9 | 学祖名(山田顕義先生)を知っている | 68.6% | 34.3 |
| 10 | 基礎学力の不足を痛感する | 66.7% | * |
| 11 | 日大に入って良かった | 66.2% | 8.0 |
| 12 | できるだけ多くの授業に出て良い成績をとろうと思った | 61.8% | 25.2 |
| 13 | 自分の学部出身者は社会に有利 | 60.3% | -7.8 |
| 14 | 勉強のためにゆとりの時間がもてない | 56.9% | -12.1 |
| 15 | 入学後、勉強意欲がもてるようになった | 56.4% | 23.5 |
| 16 | 入学後、将来について希望がもてるようになった | 55.4% | 12.2 |
| 17 | 日大のスポーツの活躍は誇りになる | 54.9% | 14.1 |
| 18 | 他学部、他学科に入りたかった | 54.4% | 4.2 |
| 18 | 入学後、人間性が豊かになった | 54.4% | 10.3 |
| 18 | 栄養のバランスに気がつかっている | 54.4% | 4.6 |

松戸歯学部

入学から現在までの意識や行動について、松戸歯学部では「自分の学部の学部長名を知っている」が85.2%で1位となっています。次いで、推薦入試・AO入試による入学者比率が40%強と高いためかもしれませんが、「基礎学力の不足を痛感する」が80.7%と高くなっています。他の学部と比較すると、「学内での盗難や器物破損の危険性を感ずる」は79.0%で14学部中最高（3年前から13.7ポイント増）であり、大学環境に危機感もっている学生が多いようです。「今、将来の職業をどうしたいかがはっきりしている」（77.8%）は14学部中2位、「今、はっきりとした目標をもって勉学している」（77.3%）が同1位となっており、将来の職業を意識し目標をもって勉学に励む学生が大半を占めていることが分かります。

平成9年度と比較すると、「学祖名（山田顕義先生）を知っている」が33.7ポイント増、「入学直後に比べると日大の良さを認めるようになった」が14.4ポイント増、「入学後、勉学意欲がもてるようになった」が21.1ポイント増と目立っており、本学に対する認識や評価と入学後の勉学意欲が高まる傾向が見られます。

入学から現在までの意識・行動(上位20位)

平成9年度
からの増減
(ポイント)

| 順位 | 意識・行動 | 割合 | 平成9年度からの増減(ポイント) |
|----|---------------------------|-------|------------------|
| 1 | 自分の学部の学部長名を知っている | 85.2% | 2.8 |
| 2 | 基礎学力の不足を痛感する | 80.7% | * |
| 3 | 学祖名(山田顕義先生)を知っている | 79.5% | 33.7 |
| 4 | 学内での盗難や器物破損の危険性を感ずる | 79.0% | * |
| 5 | 今、将来の職業をどうしたいかがはっきりしている | 77.8% | -6.3 |
| 6 | 今、はっきりとした目標をもって勉学している | 77.3% | 6.4 |
| 7 | 入学時に卒業後の進路・就職を意識していた | 76.1% | -8.5 |
| 8 | 今の学部に入って良かった | 75.0% | 13.8 |
| 9 | 校舎内で火災・地震等発生時の避難方法を知っている | 69.9% | * |
| 10 | 勉学のためにゆとりの時間がもてない | 68.2% | 0.4 |
| 11 | 日大に入って良かった | 67.6% | 7.7 |
| 12 | 入学後、勉学意欲がもてるようになった | 66.5% | 21.1 |
| 13 | できるだけ多くの授業に出て良い成績をとろうと思った | 63.1% | 8.5 |
| 14 | 入学後、将来について希望がもてるようになった | 61.9% | 4.6 |
| 15 | 自分の学部出身者は社会に有利 | 61.4% | 7.2 |
| 16 | 入学後、人間性が豊かになった | 60.8% | 4.4 |
| 16 | 校舎内で火災・地震等発生時の安全性に不安を感ずる | 60.8% | * |
| 18 | 入学直後に比べると日大の良さを認めるようになった | 60.2% | 14.4 |
| 18 | 日大のスポーツの活躍は誇りになる | 60.2% | 7.8 |
| 20 | 健康のために定期的な運動をしている | 59.1% | 0.5 |

生物資源科学部

入学から現在までの意識や行動について、生物資源科学部では入学直後「今の学部に入って良かった」が85.9%で1位、「日大に入って良かった」が80.5%で2位と高く、大学・学部で満足して入学した学生が大半を占めていることが分かります。他の学部と比較しても、後者は14学部中2位と満足度の高さがうかがえます。

さらに平成9年度と比較すると、「入学直後に比べると日大の良さを認めるようになった」が17.1ポイント増、「入学後、勉強意欲がもてるようになった」が16.0ポイント増となっており、現在の大学・学部に対する満足度や勉強意欲も高まる傾向が見られます。また、「他学部・他学科に入りたかった」は平成24年度は22.8%で18.1ポイント減となっており、不本意入学意識が弱まる傾向が表れています。

入学から現在までの意識・行動(上位20位)

平成9年度
からの増減
(ポイント)

| 順位 | 意識・行動 | 割合 | 平成9年度からの増減(ポイント) |
|----|---------------------------|-------|------------------|
| 1 | 今の学部に入って良かった | 85.9% | 12.6 |
| 2 | 日大に入って良かった | 80.5% | 9.2 |
| 3 | 基礎学力の不足を痛感する | 78.4% | * |
| 4 | 入学直後に比べると日大の良さを認めるようになった | 67.2% | 17.1 |
| 4 | ボランティア活動を今後してみたい | 67.2% | 7.6 |
| 6 | 入学後、人間性が豊かになった | 64.8% | 5.3 |
| 7 | できるだけ多くの授業に出て良い成績をとろうと思った | 61.4% | 2.3 |
| 8 | ぼんやりと過ごす時間が多い | 60.3% | 4.4 |
| 9 | 自分の学部で誇りをもっている | 55.3% | 4.3 |
| 10 | 栄養のバランスに気がつかっている | 54.6% | 2.2 |
| 11 | 日大のスポーツの活躍は誇りになる | 54.4% | 3.4 |
| 11 | 大学は学生の個人情報に細心の注意を払っている | 54.4% | * |
| 13 | 入学後、勉強意欲がもてるようになった | 53.3% | 16.0 |
| 14 | 校舎内で火災・地震等発生時の安全性に不安を感じない | 52.8% | * |
| 15 | 必要な基礎学力の補習を実施して欲しい | 52.0% | * |
| 16 | 学祖名(山田顕義先生)を知っている | 51.4% | 28.6 |
| 17 | 自分の学部のホームページをよく見ている | 50.1% | * |
| 18 | 入学時に卒業後の進路・就職を意識していた | 49.8% | 1.0 |
| 19 | 自分の学部は今後益々世間で評価される | 48.5% | -3.9 |
| 20 | 勉強のためにゆとりの時間がもてない | 45.2% | 2.0 |

薬学部

入学から現在までの意識や行動について、薬学部では「自分の学部の学部長名を知っている」が88.2%で1位となっています。「今の学部に入って良かった」が85.1%、「自分の学部出身者は社会に有利」が79.0%と上位にランクされており、学部帰属意識が高い傾向が見られます。また、推薦入試による入学率が60%弱と高い影響もあってか「基礎学力の不足を痛感する」が82.1%で3位となっています。他の学部と比較すると、「基礎学力の不足を感じる」は14学部中最高となっており、平成18年度から6年制に移行したことから勉学の難易度が高まったことも一要因と考えられるでしょう。また、「日大は自分の才能を伸ばしてくれる」(32.4%)と「創造性が養われた」(30.5%)は14学部中最低であり、勉学に精一杯でゆとりをもてない学生が多いのかもしれませんが。

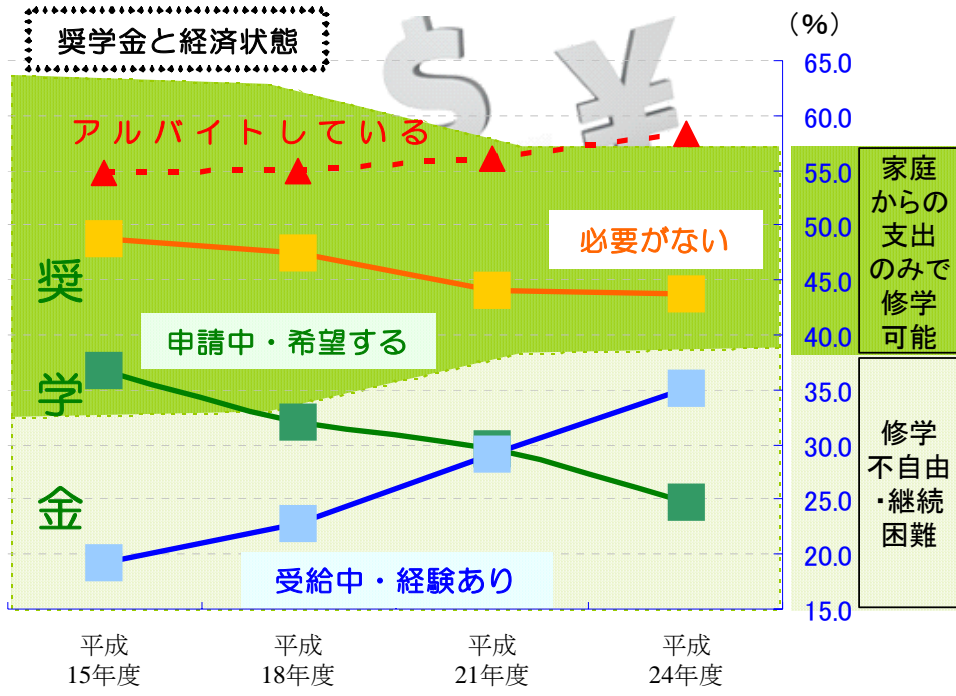
平成9年度と比較すると「入学後、勉学意欲がもてるようになった」(60.7%)が16.5ポイント増加し、勉学意欲は上昇傾向が見られます。また、「学祖名」や「学部長名」の認知率が大幅に増加している点も目立っています。

入学から現在までの意識・行動(上位20位)

平成9年度
からの増減
(ポイント)

| 順位 | 意識・行動 | 割合 | 平成9年度からの増減(ポイント) |
|----|---------------------------|-------|------------------|
| 1 | 自分の学部の学部長名を知っている | 88.2% | 16.4 |
| 2 | 今の学部に入って良かった | 85.1% | 1.7 |
| 3 | 基礎学力の不足を痛感する | 82.1% | * |
| 4 | 自分の学部出身者は社会に有利 | 79.0% | 6.6 |
| 5 | 日大に入って良かった | 73.3% | 5.9 |
| 6 | 自分の学部に誇りをもっている | 68.7% | -0.9 |
| 7 | 入学時に卒業後の進路・就職を意識していた | 66.0% | -0.9 |
| 8 | 今、はっきりとした目標をもって勉学している | 65.3% | 3.4 |
| 9 | 勉学のためにゆとりの時間がもてない | 64.5% | 3.7 |
| 10 | ボランティア活動を今後してみたい | 63.4% | 10.9 |
| 10 | 大学は学生の個人情報に細心の注意を払っている | 63.4% | * |
| 12 | 今、将来の職業をどうしたいかがはっきりしている | 63.0% | 2.8 |
| 13 | できるだけ多くの授業に出て良い成績をとろうと思った | 62.2% | -6.3 |
| 14 | 入学後、勉学意欲がもてるようになった | 60.7% | 16.5 |
| 14 | 学祖名(山田顕義先生)を知っている | 60.7% | 39.2 |
| 14 | 校舎内で火災・地震等発生時の安全性に不安を感じず | 60.7% | * |
| 17 | ぼんやりと過ごす時間が多い | 59.9% | 6.3 |
| 17 | 学内での盗難や器物破損の危険性を感じず | 59.9% | * |
| 19 | 日大のスポーツの活躍は誇りになる | 59.5% | 12.0 |
| 20 | 入学後、人間性が豊かになった | 58.8% | 8.0 |

学生の経済状況は悪化傾向。格差に広がり？



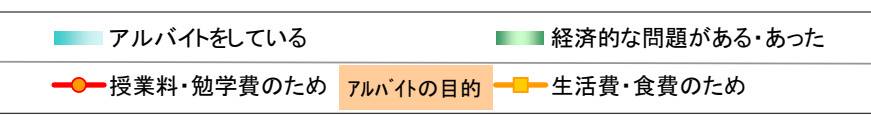
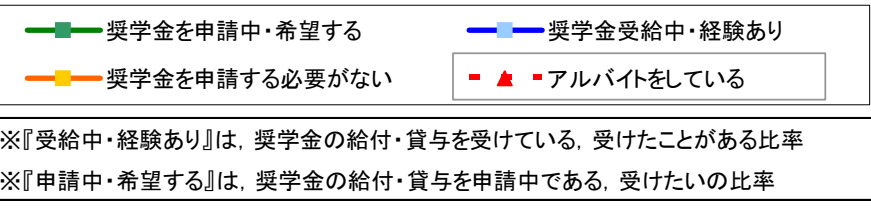
学生の経済状況に注目してみましょう。サブプライムローンからの世界的な金融危機は日本経済にも大きな影響を与えたと考えられています。この現象は、学生の経済状況や奨学金制度の利用状況にどの程度影響を与えているのでしょうか。

「家庭からの支出のみで修学可能」とする学生の割合はこの項目が調査に含められた平成15年度は64.5%でしたが、平成24年度は58.0%と、6.5ポイント減少しました。「家庭からの支出のみでは修学に不自由」もしくは「継続困難」とする学生も同時期に32.9%から39.2%と6.3ポイント増加しています。平成18年度から平成21年度の期間にこの傾向が顕著になっており、本学学生の家庭にも影響が及んだと考えることができるでしょう。

奨学金の利用についてはどうでしょうか。「給付や貸与を受けている・受けたことがある」も平成15年度から平成24年度の9年間で15.8ポイントも増加しています。一方で、奨学金を「申請する必要がある」は減少、「申請中、希望する」も減少傾向にあります。その背景として、本学や各学部毎の奨学金制度が充実していることが挙げられます。

学生の経済状態をさらに詳しく分析するために『アルバイトとその目的』を左記のグラフから見てみましょう。アルバイトを行う学生はやや増加傾向にありますが、その目的に変化が表れています。以前のようにレジャーや嗜好品の購入のためではなく、「生活費・食費」、「授業料・勉学費」といった学生生活に不可欠な目的のためにアルバイトをする学生の比率が増加していることが分かります。

一方で、「経済問題がある・あった」と回答する学生は微減傾向にあり、学生の経済状態にも格差が広がりつつあることを示しているとも言えるかもしれません。



※『生活費・食費のため』『授業料・勉学費のため』はアルバイトをする主な動機・目的、
『経済的問題あり』は入学以来の不安・悩み・問題についての調査項目より抽出